

やまゆりニュース

「やまゆりニュース」第10号 発行日：平成25年6月1日
 発行元 NPO法人あさお市民活動サポートセンター
 〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5
 TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467
 発行人：植木昌昭

川崎市麻生区市民活動支援施設 麻生市民交流館やまゆり

目次：

夢のビックリ玉手箱を目指して ～ 理事長 植木昌昭 ～	1
A【安全・安心】 「太助くんがかけつきます！」	2
S【サプライズ】 古代に地域交流があった！ 「古沢都古東遺跡」墨書土器出土	2
A【アミューズメント】 地域に根付き、映像文化発展に 寄与する 日本映画大学	3
O【お役立ち情報】 備えあれば憂いなし ～高齢福祉社会の杖、成年後見制度	3
やまゆり年間スケジュール 市民活動相談窓口について	4

夢のビックリ玉手箱を目指して



このたびNPO法人あさお市民活動サポートセンターの理事長に就任しました植木昌昭です。よろしくお願ひ致します。

2007年4月に昭和音楽大学の手前に開館した麻生市民交流館やまゆり（以下「やまゆり」）は、「区のコミュニティの核となる施設であり市民活動の拠点」と位置づけられています。「やまゆり」の管理運営をしている「あさお市民活動サポートセンター」は当初社団法人として、翌2008年にNPO法人格を取得し、5年が経過いたしました。

「やまゆり」という名称は公募の結果、藤村義毅さん宮河悦子さんの案が採用されました。2012年には麻生区の花として選定された“ヤマユリ”は、かつて区内に群生し百合ヶ丘の地名の由来になったとも言われています。麻生区民にとって格別の思い入れがあるこの花の名を冠してのスタートでありました。

発足当時は1階サロンには何もなく、殺風景で、2階会議室の認知度も今一つの状況でした。その後、池

上慶造さんからピアノが寄贈され、音響・照明・背景カーテンなど機材も充実していきました。「やまゆり」らしい参加型のイベントも実施し、皆さんに知ってもらう努力を重ねてまいりました。おかげさまで、現在570を超える団体に利用登録をいただいております。

運営面では、毎年度のスタッフ募集に多数応募いただき、現在54名の区民ボランティアに支えられています。

サポートしていただく正会員・賛助会員も100名を超え、本年4月には麻生区文化協会から文化振興賞をいただき、川崎市各区の職員の見学など川崎市でも注目される存在にまでなっております。

豆腐のように四角四面の愛想のない建物ですが、開けてみればあっと驚く楽しみや情熱や可能性が一杯詰まっています。そんな「夢のびっくり玉手箱」を目指し、さまざまな企画を進めてまいります。

これからも、なお一層のご支援をお願いいたします。

理事長 植木昌昭



↑ピバ！かがやく子どもたち



デジタル塾→



↑歌声喫茶

区民講師→



●ヤマユリと麻生区

区内にある百合ヶ丘という地名の由来には、諸説あるが、なかでも「ヤマユリが群生していたから」というのが地域の人々から圧倒的に支持されることである。実際、往時には区内いたる所にこの花が自生していたという。この花は日本特産であり、「ゆりの王様」と呼ばれる。郷土の象徴とするだけの由縁にふさわしいのだろう。

また「ヤマユリの花はヤンチャでね」。この花に詳しい麻生区の人々は言う。土地を選ぶのだそうだ。成長のために必要な条件が揃うのは難しいらしい。

そしてこのヤマユリは決して狐高の花ではなく、群生して開花するのが本性なのだそうだ。ある辞典によると、この花の特徴として「(種から育成すると)発芽から開花までには少なくとも5年以上かかり、株が古いほど多くの花をつける」とある。

(出典 政策情報かわさき第23号)

現在、麻生ヤマユリ植栽普及会(代表貞本勉さん)が復活・再生を目指している。会員も募集中！



A Anshin 安心

太助くんがかけつけます！

救急隊のアイドル太助くん



麻生区の皆さん！ 麻生区の救急体制って、どう運用されてるかご存知ですか？

麻生区では救急車が24時間体制で麻生消防署2台（1台は車両故障等の非常用）柿生消防署1台計3台が稼働している。10名の隊員が2交代で24時間の勤務についている。年間の出動回数は平成21年4086回、22年4275回、2

3年4383回と増加傾向にあるが人口の増加と高齢化が原因と思われる。出動要請の約60%強は急病で真夏と真冬は出動要請が急増する。特に子どもと高齢者は要注意だ。

救急要請を受けて平均8分で現場に到着し4件の病院に断られた場合、または現場滞在時間30分を経過しても搬送先が確定できない場合は、少し離れているが確実に受け入れてくれる病院を確保している。

救急隊の渡邊司令補は一度民間の会社に就職したが、出世や高収入を目指すより困ってる人に手を差し伸べる仕事に就きたいと転職を決意した。でも幼い子どもの命を救えなかったときは、悔しさと悲しさで帰りの車の中で涙したこともあるそうだ。



↑向かって左から稲葉繁彦 機関員、宮戸潤一隊長、松長宏次隊長
←取材に応じてくれた熱血漢の渡邊隊長

搬送した患者さん本人や家族の方が後日お礼に訪れることもあり、日頃の苦勞が報われるひとときだ。

救急隊員は救急活動に強い使命感を抱いて日夜活動をしている。救急車のお世話になりたくないが、もしもの場合でも太助くんがかけつけてくれる。安心を提供してくれているので心強い限りだ。

取材・文 本間和雄

S Surprise サプライズ

古代に地域交流があった！

「古沢都古東遺跡」墨書土器出土

<区内考古学施設>

細山郷土資料館 細山3-10-10 (966-7752)

柿生郷土資料館 上麻生6-40-1(柿生中学988-0004)



▲「山」と墨書され出土した杯



▲古沢都古東遺跡の第一地点調査風景

新百合ヶ丘駅北口から歩いて10分ほどの古沢の台地から墨書きした土器が見つかった。現在の山口台の周辺で発掘された土器と共通した特徴があるため、地域の交流があったことがわかった。

区内でも麻生川流域は古代の集落遺跡が集中して発掘され、古沢の遺跡は「古沢都古（つこ）東遺跡」（古沢字都古235番地）。現在の新百合ヶ丘総合病院の敷地内になる。2009年7月から5か月かけ発掘され、本年中に報告書がまとまる。記録保存された図第一地点からは平安時代の土器が出土。土器はろくろ成形の窯焼きによる青灰色の食器（坏）に「山」と鮮明に判読できる墨書が記されていた。

これは周辺の山口台周囲で1983年に発掘調査された山口台遺跡群や2005年の上麻生日光台遺跡でも見つかった「山」「山口」の墨書土器と共通し、「山口」という地名を示すと考

えられる。麻生川流域の水田開発のなかで地域のまとまりや物の移動による人の交流をしめすものといえる。

同第一地点は50mプールをやや小さくした中規模（1420㎡）遺跡で約7000年前、縄文時代初期のけものを狩る落とし穴（土坑）と9世紀から10世紀前半の平安時代の地面を掘り下げ作った住居（竪穴住居）跡13軒などが発掘された。

平安時代の遺跡は古沢のやせ尾根下の谷戸の水田を開発するにあたり、1人から3人ほどが住むことができる住居が集まった農村集落と推定され、住居は時代をたがえて建てられた。住居のなかには煮炊きするかまどがあり、出土品は小刀の鉄製品や土器は野焼きや窯焼きによる皿や小鉢などの食器。図第一地点、第二地点の縄文時代の落とし穴からは出土品が発掘されなかった。

取材・文 池山幹夫

* 坏はお酒を飲むためのものではなく、基本的に食べ物を入れるもので、現在の茶碗・鉢と同じ機能と思われる。（町田市・吾妻考古学研究所）



Amusement アミューズメント

地域に根付き、映像文化発展に寄与する 日本映画大学

休日になると野球やサッカーをする子どもたちの元気な声が響き渡るグラウンドがある。小学校ではない。日本映画大学白山キャンパスのグラウンドだ。

2011年春、麻生区の旧白山小学校跡地に日本初の4年制の映画大学として開学。「大学設立にあたり川崎市や麻生区、地元の皆さんから多大な協力をいただきました。地域との連携を大切に大学を運営していきたい」寺川光洋企画・評価部長は語る。大学では地域住民を対象に映画会や映像制作講習会なども開催。



体育館は地元管理組合の総会などにも利用され、大学施設で地域防災訓練を行うほか有事の際には避難所になるという。

白山地域の夏の風物詩「白山納涼祭」の会場もここ。グラウンドには櫓が組み、たくさんの露店が並び、和太鼓の音、お囃子、盆踊り、近隣子どもだけでなく離れて住むお孫さんたちもやってくる。王禅寺中央小学校の子どもたちの踊り、そして花火。納涼祭には学生や職員も参加する。祭りを通じて大学と地元住民の親睦は深まり、より強い“絆”が生まれている。

日本映画大学は、1975年「横浜放送映画専門学院」から始まる37年の歴史の中で、映画・放送業界を中心に既に5000人以上の映像技術者を送り出し映像文化の発展に貢献してきた。「しんゆり芸術のま



・日本映画大学白山キャンパス

ちづくり」にもさまざまな形で協力や支援を行っている。新ゆり近辺では映画のロケも行われ、機材を抱えた学生が真剣に撮影している姿も多く見られる。5月には川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)、8月は白山納涼祭、10月には「KAWASAKI・しんゆり映画祭」と支援、貢献が続く。

日本映画大学は住民にとっても身近な存在になってきた。地域に愛され、地域と共存し、映像文化発展に、ますますその存在感を増していった欲しい。

取材・文 吉田清次



Oyakudachi お役立ち情報

備えあれば憂いなし

～高齢福祉社会の杖、成年後見制度～

成年後見への関心が高まっている。預貯金の出し入れ、売買契約、財産管理などには危険がいっぱい。認知症にかかったらどうしよう、でも、後見人がついていけば安心。

成年後見制度は、判断能力が不十分のため財産などを自分で管理できない障がい者・高齢者などを法的に保護・支援する目的で、2000年に導入された。すぐにでも保護・支援を必要としている場合は、家庭裁判所で適切な成年後見人などを選任してもらう。

一方、将来の不安に備えて、本人が予め意中の人を選任しておくのが任意後見人。公証役場で任意後見契約公正証書を作成する。実際に活動を始めるにあたっては、事前に家庭裁判所で任意後見監督人を選任してもらう必要がある。

公正証書作成は通常3万円ほど、家庭裁判所での手続きは1万円ほどかかる。ケースによっては別途費用が発生する。

成年後見人・相続・遺言など、いろいろ相談したい場合は、行政書士事務所などの法務事務所、関連NPOなどで相談する方法もある。そのひとつ「NPO法人遺言相続・成年後見ハートセンター」は近年、神奈川県内で無料講習会・相談会など啓発活動に力を入れている。2012年には講習会を7回開き、200人ほどが受講した。11月には「やまゆり」でも開催。今年も同様の無料講習会・相談会を予定している。行政書士・税理士・宅地建物取引主任者・臨床心理士など、関連分野の専門家が揃っており心強い。

心配があれば、まず、いずれかの窓口で相談してみたいはいかがでしょうか。



文中のNPO法人による講習会
市民交流館「やまゆり」にて
—早川氏提供—



成年後見制度パンフレットは麻生区役所高齢・障害課32窓口で入手できる

【参考データ】

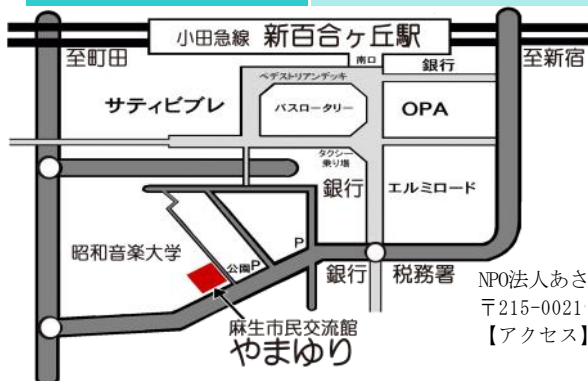
- 横浜家庭裁判所川崎支部 家事書記官室後見係
TEL. 044-222-1671
アクセス：JR川崎駅からバスで約10分
京浜急行川崎駅から徒歩約10分
- 溝の口公証役場
TEL. 044-811-0111
アクセス：田園都市線高津駅から徒歩約4分
田中屋ビル2階
- 川崎公証役場
TEL. 044-222-7264
アクセス：JR・京浜急行川崎駅から徒歩約6分
NOF川崎東口ビル11階
- 区役所 高齢・障害課
高齢者支援係 TEL. 044-965-5148
障害者支援係 TEL. 044-965-5159
- NPO法人遺言相続成年後見ハートセンター
理事長 小川恵一(行政書士)
主たる事務所：横浜南区
連絡先：副理事長 早川義裕
(行政書士、麻生区在住)
TEL. 090-3085-1941 設立：2010年7月
ホームページ <http://igon-souzoku.org/>

取材・文 飯田保幸

「やまゆり」年間スケジュール

平成25年度(6月以降)予定

開催日	内容
6月2日(日)	第6回 ビバ!かがやく子どもたち
6月8日(土) ・15日(土)	ホームページ作成工房
6月29日(土)	深緑やまゆり劇場
7~12月 第1日曜	エクセル:表計算塾
7月13日(土)	はじめてのソフトジャズ・ライブ
7月20日(土)	中国悠久の調べ
8月3日(土) 昼	シニア祭り(芝居)
8月3日(土) 夜	シニア祭り(歌声酒場)
8月10日(土)	真夏のハワイアン
9月1日(日)	現代・津軽三味線コラボ♪
9月8日(日)	シャルメと季節を巡る親子コンサート
10月5日(土)	スペランツァ・ミニコンサート
10月12日(土)	歌声喫茶 秋
10月26日(土)	第5回 健康見本市
10月27日(日)	楽しく歌おう童謡 秋
11月9日(土) ・10日(日)	第3回 クラフト展
11月16日(土)	やまゆり 楽芸会
12月15日(日)	クリスマス・コンサート
1月11日(土)	新春やまゆり寄席 第7回
未定(1月)	目指せ!アクティブシニア講座
未定	川相昌弘さん講演会
2月8日(土)	歌声喫茶 冬
2月22日(土)	はじめてのタンゴ・ライブ
3月8日(土)	シャルメと季節を巡る親子コンサート
未定(3月)	第5回 区民講師公開講座



NPO法人あさお市民活動サポートセンター
〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-11-5
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」
南口から徒歩4分

「地域でいきる・いろいろ」 もっとたのしみませんか?

私たちの住むこの麻生区で仲間づくりに参加しませんか。

市民活動相談窓口は、皆様がもっと充実した生活を送るための手助けをしてみたいです。

あなたのやりたいことは、なんですか?
現在「やまゆり」では、350を超える団体があなたの参加を待っております。

—趣味・学習—

- ① なにか趣味を持ちたい。趣味をふやしたい
- ② 余った時間を使って勉強したい

—福祉・地域ボランティア—

- ③ からだを使ってボランティアしたい
- ④ 能力を活かしてお役に立ちたい、ボランティアをしたい

—地域・組織リーダー—

- ⑤ 麻生で仲間づくりがしたい
- ⑥ 活動グループの仲間に入りたい
- ⑦ 身についた力を地域で活かしたい

- ⑧ 「活動の場」、「指導者」、「講師」、「演芸者」を紹介して欲しい。

市民活動相談窓口

- 開設日: 毎週火曜日・木曜日
- 時間: 13時30分~16時30分

お気軽に麻生市民交流館やまゆりにお越しください。
受付ではいつでもお聞きしています。

